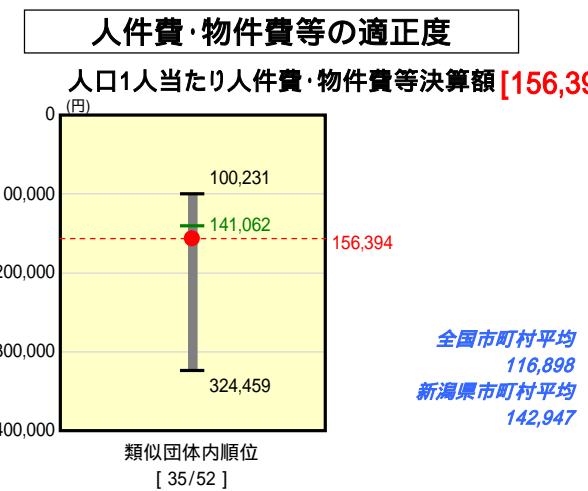
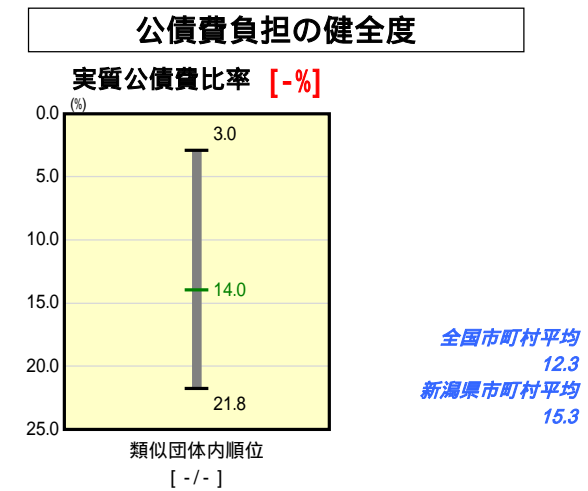
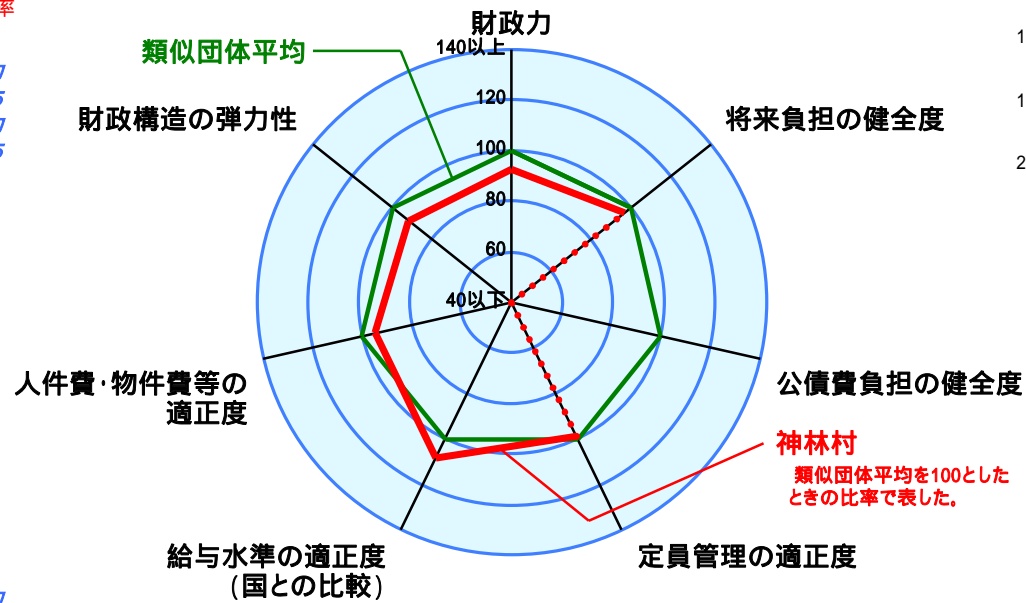
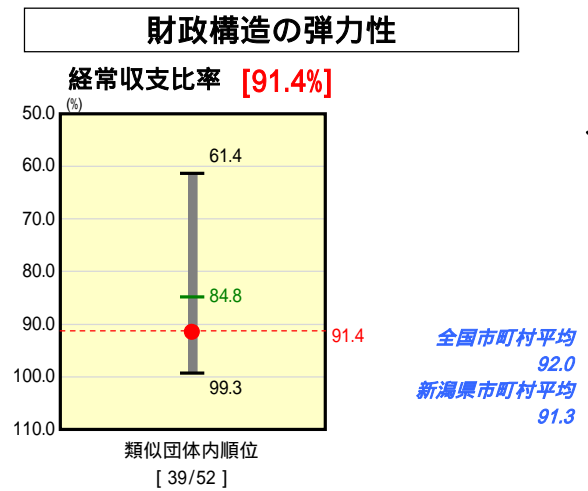
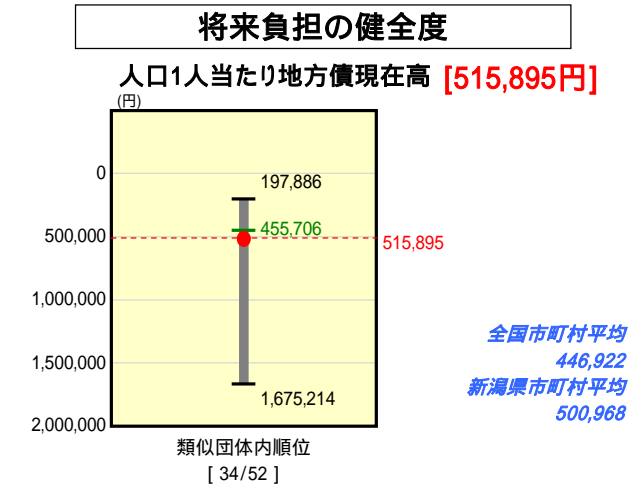
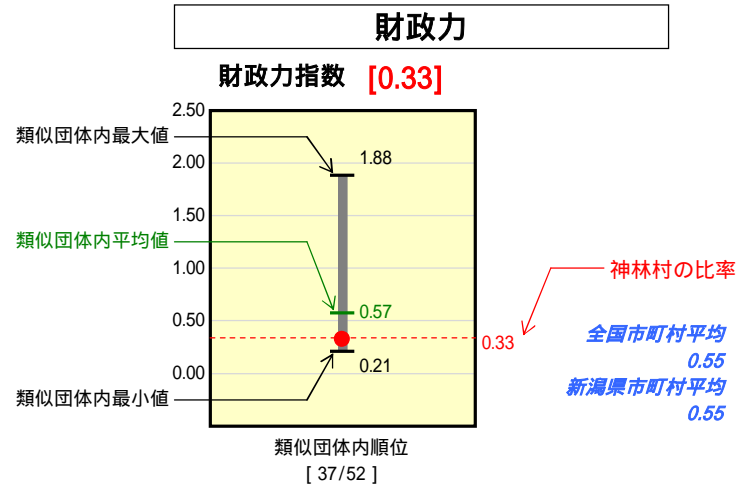


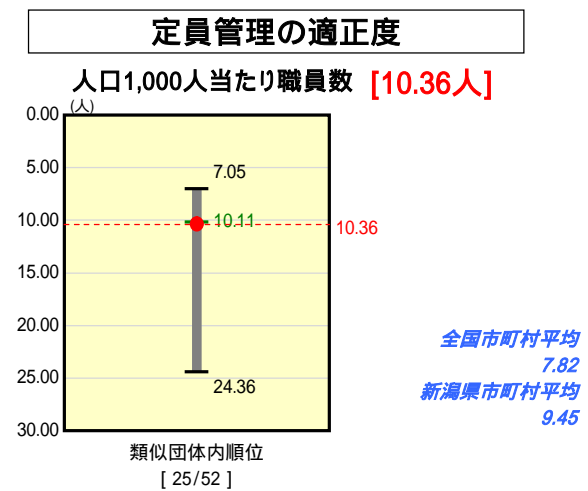
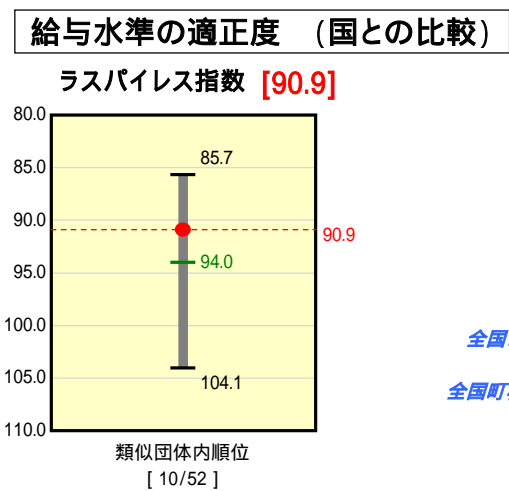
# 市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

## 新潟県 神林村

人口	10,135 人(H20.3.31現在)
面積	82.18 km <sup>2</sup>
歳入総額	5,202,599 千円
歳出総額	5,077,263 千円
実質収支	125,336 千円



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。  
平成20年4月1日以降の市町村合併により消滅した団体で実質公債費比率を算定していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。  
ラスパイレス指数及び人口1,000人当たり職員数については、平成19年度地方公務員給与実態調査に基づくものである。なお、平成19年度中に市町村合併を行った団体については、当該項目に係るデータのグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。



### 分析欄

平成20年4月1日合併により村上市となった。(村上市、荒川町、神林村、朝日村、山北町の5市町村)

#### 【財政力指数】

人口の減少や全国平均を上回る高齢化率に加え、村内に中心となる産業がないこと等により、財政基盤は弱く類似団体平均を大きく下回っている。組織・機構の見直し、民間委託等の推進し人件費の削減に努め、行政の効率化に努めることにより、財政の健全化を図る。

#### 【経常収支比率】

普通交付税等の経常一般税源の減少及び維持補修費及び補助費等の増加により大きく経常収支比率が高まった。行財政改革への取り組みを通じて経費の削減に努め、経常収支比率の低下を図る。

#### 【人件費・物件費等の適正度】

類似団体平均とほぼ同額となっているが、合併関連経費により増加した。今後は人件費の削減を中心とする行財政改革を強力に進めることにより、人件費・物件費の抑制を図る。

#### 【ラスパイレス指数】

現在は類似団体平均を下回っているが、今後も国における給与制度改革に準じた見直し及び民間委託等の推進を図るなど、より一層の給与の適正化(総人件費で18年度から21年度の間に合計1億円程度削減)に努める。

#### 【人口一人当たり地方債現在高】

類似団体平均とほぼ同額となっている。今後は事業の選択を進めるとともに新規発行債の抑制を行い、財政の健全化に努める。

#### 【人口1,000人当り職員数】

現在は類似団体平均を若干上回っている。今後も住民サービスを低下させることなく、集中改革プランに基づき削減し定員管理の適正化を図る。